

(別紙 8)

静岡県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	ニホンジカ
技術名	ドローンとセンサーカメラの併用による効果的な捕獲活動の実証
実証地域	静岡県駿東郡小山町
実証時期	令和 7 年 11 月 ～ 令和 8 年 2 月
実施体制	委託先：株式会社スカイシーカー
事業費	1,474,000 円

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

静岡県では、特に伊豆、富土地域でニホンジカの生息密度が高く、適正な個体数に調整するため管理捕獲を実施している。これまでの取組により推定生息頭数は、ピーク時と比べ R6 年度末で伊豆地域で半減、富土地域で 40% 減少しているが、依然として高い水準にある。これまでの捕獲の取組により、生息頭数の減少や警戒心の強いニホンジカの増加により、捕獲がしづらくなっていることから、効果的・効率的な捕獲を促進する必要がある。

注：捕獲等事業によって目指す地域の状況や、軽減したい被害に関する目標、そのために必要な密度低減の考え方や捕獲数、捕獲の実施状況・効果・課題等を記載すること。

3 地域実証する技術の目的・目標・具体的な内容・効果等

＜事業の目的＞
ドローン及びセンサーカメラを用いてニホンジカの生息状況を調査し、撮影された頭数や移動方向等を捕獲従事者に提供することで、捕獲空白地でもより効率的な捕獲を促進する。

＜事業の内容＞
ドローンに搭載した赤外線カメラにより、ニホンジカの生息・移動状況を撮影。即時に画像を解析して、生息分布図を作成した。生息分布が高い場所周辺にセンサーカメラを設置し、ニホンジカの使っている獣道や移動の方向を調査し、結果を図示した。これらの情報を基に捕獲従事者が捕獲計画を立案し、くくりわなによる捕獲を実施した。

注 1：2 を踏まえて、地域実証する目的や必要性、実証の場所や日程、方法、内容、想定される効果等を具体的に記載すること。

注 2：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

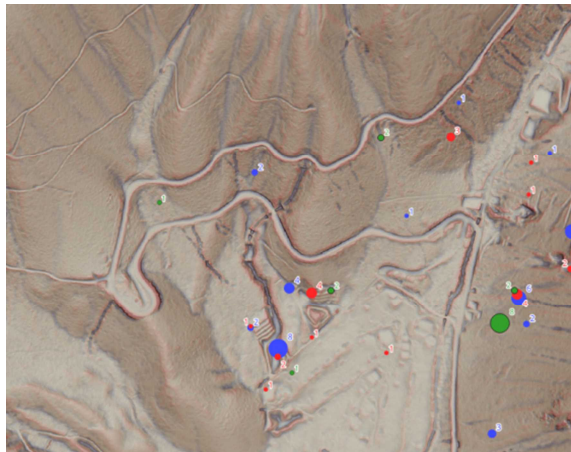
注 3：事業終了後の評価報告においては、注 1 ～ 2 について実施した内容・結果を具体的に記入すること。

4 技術の効果の検証・評価方法/結果

<事業の結果・効果>

調査結果を捕獲従事者に提供し、くくりわなによる捕獲を実施したところ、11月上旬～1月上旬までに31頭捕獲でき、捕獲効率は富士地域のR6年度管理捕獲の平均と比べ約2倍となった。1月上旬に実施した調査では、実証地域で確認されたニホンジカの数はいずれも11月下旬の半分以下となった。

また、シカの出現数が多い地点や移動方向を把握できたことで、移動先の捕獲しやすい場所にくくりわなを設置することができ、効率的な捕獲を行うことができた。



ドローン調査結果



センサーカメラ調査結果

注：3を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する地域実証の効果を図るための指標（被害指標や密度指標等）やその収集方法、評価の方法等について記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

5 技術の活用・普及方法、その他

ドローンやセンサーカメラにより生息状況や移動方向を可視化することで、捕獲空白地においても、生息状況を把握でき、効率的な捕獲につながる。他の捕獲空白地や捕獲困難地における捕獲で検証しながら、その手法を研修会等で紹介し、捕獲従事者に普及していく。

注1：地域実証する技術の活用・普及方法について記載するとともに、地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。